

「TEPIA チャレンジ助成 2019」 応募申請における書類作成要綱

これは、応募申請を行う際の注意点などが書かれたものです。この書類をよく読んで、申請書[様式1] [様式2]、推薦書 [様式3]、同意書[様式4]を作成してください。

■TEPIA チャレンジ助成事業 申請書（様式1）作成

(1) 「開発したいロボットの名称」

自分たちでつけた、開発したいロボットの名前を記入してください。

(2) 「氏名」

申請をおこなう、開発チームの代表者（中学生・高校生・高専生）の氏名・ふりがなを記入してください。

(3) 「学年・年齢」

申請時点での学年と年齢を記入してください。

(4) 「学校名」

学校の正式名称をご記入ください。（例：東京都立 TEPIA 先端技術高等学校）

(5) 「部名（部活動での応募の場合）」 「チーム名（部活以外での応募の場合）」

部活動での応募の場合には、申請時点での所属部名を記入してください。

部活動以外で結成されたチームの場合には、学科名や、所属がわかるチーム名を記入してください。

(6) 「E mail」

申請者と連絡が取れる E メールアドレスを記入してください。

必ず、@tepia.jp からのメールが受け取れる状態、URL つきのメールが受け取れる状態にしてください。

(7) 「申請者の電話番号」

申請者と連絡が取れる電話番号（携帯電話等）を記入してください。

(8) 「オンライン面談に使用するアプリ、ID」

オンライン面談に使用するアプリを、Google hangouts、skype、Facetime から1つ選び、そのアプリのID またはメールアドレスを記入してください。

(9) 「学校の電話番号」

学校にいる時に連絡が取れる連絡先を記入してください。

(10) 「推薦者の氏名」

指導教員（推薦状を書いてくれた人）の氏名を記入してください。

(11) 「推薦者の Email」

指導教員（推薦状を書いてくれた人）に連絡が取れるメールアドレスを記入してください。

(12) 「チームメンバー」

申請者と一緒に開発するメンバーの氏名・ふりがな・学年をご記入ください。

欄が足りない場合は、適宜追加して全員分記入してください。

申請後、開発人数が増える場合などは必ず事務局に連絡をしてください。

■TEPIA チャレンジ助成事業 申請書（様式2）作成

(1)「開発ロボットの名称等」

- ・「開発したいロボットの名称」

自分たちでつけた、開発したいロボットの名前を記入してください。

- ・「どういったロボットなのか（簡潔に）」

どんな課題を解決するために、どういった機能を持たせるのか、どういった特徴があるのか等、開発したいロボットの概要を簡潔にまとめて、短文で記入してください。

(2)「開発目的・開発方法」

テーマに沿ったロボット開発企画を考え、以下の9点を整理し、別紙（A4サイズ・形式自由）にて「開発計画書」として5ページ以内にまとめ、データを提出してください。

図などを用いてわかりやすく書いてください。

2019のテーマ：「Beyond～超える・越える～

自分の周囲や世の中の「課題」を「超（越）える」ロボットを開発せよ！」

- ① 開発したいロボットの名称、申請者の氏名
- ② なぜそのロボットを開発しようと思ったか
- ③ 課題の背景
- ④ 開発ロボットのイメージ図と説明
- ⑤ 開発手法（開発期間内で何をどこまで行うか）
- ⑥ 開発ロボットの特徴、独創的な点
- ⑦ 予想される成果と、その意義
- ⑧ 支援してほしい内容（技術的な課題）
- ⑨ 参考にした文献

(3)「開発費の用途」

助成金（開発費）を、どのように使う予定か、箇条書きで記入してください。

- 例：
- ・○○○に使う工作機 18,800 円
 - ・サーボモーター 12 個×¥1000 12,000 円
 - ・コントロールボード 18,000 円
 - ・コンテスト旅費 9,800 円

支給の対象は、今回のロボット開発に関わる、以下の様なものです。

飲食費、間接経費は認められません。

- ❖ 基板、電子部品、工作機器 等
- ❖ コンピュータ、ソフトウェア、書籍等
- ❖ レンタル費用（工作・加工機、コンピュータ、実験機器・器具等）、運搬費等
- ❖ 移動費・旅費（TEPIA ロボットグランプリ出場時）

既成のロボットキットの購入も可能ですが、組立キットのままロボットを制作するのではなく、オリジ

ナルの技術開発を伴うものであることが必要です。

(4)「開発の実績」

これまでのロボットなどの開発・発表・受賞実績（文化祭での発表、競技大会出場や学会発表など）がある場合は、記入してください。

産業財産権などの知的財産権を有する場合は、その旨記入してください。（特許出願番号等）

(5)アンケート

技術レベルの把握や今後の審査・サポートをすすめる上での基準となる内容ですので必ず回答してください。

■推薦書（様式3）作成

開発の監督・指導を行う学校の教員などから、推薦をいただいでください。

推薦者が必要事項を記入し、指導者の印を押印のうえ、スキャンデータをご用意ください。

■同意書（様式4）作成

助成を受けるにあたり、学校の同意をいただく事項があります。

同意内容の確認、必要事項を記入、学校印を押印のうえ、スキャンデータをご用意ください。

【申請方法】

事務局のメールアドレス（tcs@tepia.jp）に、データをお送りください。

○・ 申請書（様式1）のデータ

○・ 申請書（様式2、開発計画書を含む）のデータ

○・ 推薦状（様式3）の記入押印済みのスキャンデータ

○・ 同意書（様式4）の記入押印済みのスキャンデータ

注）ファイル名は、アルファベットで下記のルールに従ってつけてください。

・ 申請書（様式1）→1_苗字ローマ字_学校名ローマ字

・ 申請書（様式2）→2_苗字ローマ字_学校名ローマ字

・ 推薦書（様式3）→3_苗字ローマ字_学校名ローマ字

・ 同意書（様式4）→4_苗字ローマ字_学校名ローマ字

・ 開発計画書→5_苗字ローマ字_学校名ローマ字

例）1_suzuki_tepiakoukou

■期限：2019 年 5 月 20 日（月）24 時■

【お問い合わせ】

TEPIA チャレンジ助成事業事務局

住所：〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-44 TEPIA

Mail：tcs@tepia.jp 電話：03-5474-4967

担当：西岡、三井